

教師用指導書「ワークシート集」について	2
---------------------	---

ことばビンゴを つくろう	4
--------------	---

1 おはなしと えから そろぞろして よもう

スマイリー	5
いろいろな 日記を 書こう	13
ことばの いずみ① かん字の画	14
はじめたよ、こんな こと	15
ことばの きまり① 主語と述語	17

2 じゅんじよを 考えながら よもう

はたるの 一生	18
しらべよう、まとめよう 生きものの 一生	23
ずかんを つかて まとめよう	24
ことばの いずみ② かん字の でき方	25
書き出しを くふうしよう	26
だからさがしに ちょうせん	27

3 ずや ひょうに して くらべて 読もう

たこのすみ いかのすみ	28
ことばの いずみ③ 音や ようすを あらわす	
ことば	32
どう 言えは いいかな	33
げんこうようしの つかい方	34

4 ようすが わかるように 書こう

わたんの でぎことを しょうかいしよう	36
お話クイズ大会を しよう／山の としよかん	38
たべもの	39
いろんなおとのあめ	40
ことばのきまり② くわしくあらわすことば	
やしめすことば	41

5 せつ明のじゅんじよを考えて読もう

食べるのは、どこ	42
----------	----

6 くらべて書こう

どこをくらべる？	46
ことばの いずみ④ 声に出してたしかめよう	48
ヤマタノオロチ／	
むかしのものがたりをしょうかいしよう	49
ことばをつないで文を作ろう①く②	52
この本で学しゅうしたかん字①く⑯	54
一年生で学しゅうしたかん字①く③	92

教師用指導書「ワークシート集」について

本書は、令和二年度版「みんなと学ぶ小学校国語」の各教材の学習過程に合わせて利用できるように編集したワークシート集です。

教師用指導書解説編及び朱書編との関連を考慮し、各教材の授業展開に応じた実践的なワークシートを用意しています。また、教材に即したもののほかに、漢字や文字学習など、日常的な学習に対応した資料も収めています。それぞれのワークシートをあらかじめ確認していただき、授業の有効な場面で活用してください。

本書に収められた資料を十分に活用することで、児童の学習意欲や学びの定着が高まることを願っています。

□ 本書の使い方

本書は、図書としての扱いやすさを考慮して、教科書と同じB5判で作成しています。ご使用の際には、適宜B4判程度に拡大コピーしてください。

また、本書掲載のワークシートのデータを、弊社ホームページ内「小学校国語」よりダウンロードすることができます。適宜、資料をダウンロードして、必要部数をプリントアウトしてご使用ください。

□ 本書の構成

● 授業展開に合わせたワークシート

教科書の学習過程に合わせて利用できるように編集したワークシートです。

児童が主体的に学習課題に取り組めるよう、考えたことを書き込んだり、友達の発言を記録したりすることができます。単なる学習作業を行うのではなく、内容理解や自身の学習評価、次の学習への意欲付けができるよう配慮した内容になっています。

なお、学級の実態やノート指導の観点などから、本書に収められたワークシートが授業に適さない場合が生じることもあります。そういったときには、本資料を参考にして、自作するなどしてください。

● 「言葉をつないで文を作ろう」

学習指導要領では、漢字の読み書きについて、次のように記されています。

漢字の読み書きについては、書きの方が習得に時間がかかるという実態を考慮し、書きの指導は2学年間という時間をかけて、確実に書き、使えるようにすることとしている。

よって、学習指導要領の「知識及び技能」(1)エの「当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う」ことを受け、教科書で設定された「言葉をつないで文を作ろう」のページをもとに作成したものです。

掲載している挿絵や漢字・熟語などを使って、普段の生活や想像したことなどを織り交ぜながら、楽しく表現することをねらっています。漢字の定着のみならず、文章の創作意欲をかき立てるのに適した資料です。

●「この本で学習した漢字」

学習指導要領の「知識及び技能」(1)エの「当該学年までに配当されている漢字を読むこと」や「当該学年までの配当されている漢字を漸次書くこと」を受けたものです。

教科書本文では、新出漢字を脚注欄や「漢字の広場」の漢字特設ページにて提出しています。また、各巻の巻末資料編「漢字のまとめ この本で学習した漢字」にて教材ごとに示しています。これらのページをもとにして作成した資料です。

構成としては、まず、漢字に振り仮名を付けて読み、その後に漢字を書くようになっています。くり返し練習することにより、児童の漢字の定着が一段と進むように工夫しています。

●「〇年生で学習した漢字」

前学年で学習した漢字すべてを、学習指導要領の「学年別漢字配当表」の順に掲載しています。(一年生は当該学年の漢字を掲載)

すべての漢字を三段階で書きながら、習熟を図っています。まずは始筆が所や筆順に注意しながら「なぞり書き」を行い、その後、十字罫のあるマス目に沿って字形を意識しながら書きます。そして、最後は、上段のお手本を見ながら丁寧に書くといったステップで漢字の練習をすることができます。なお、本資料は、書写の硬筆指導にも活用することができます。

●「ひらがなのれんしゅう」

一年生のみ設定している資料です。五十音順に並んだ平仮名を書く練習をします。筆順、字形を意識しながら、くり返し練習ができるようになっています。また、始筆から「とめ」「おれ」「はね」「まがり」「はらい」「むすび」などの点画の書き方に注意して書くことで、読みやすく丁寧に字を書くこととする態度を養うことができます。

本書に収録した情報の著作権は学校図書に帰属しています。また、収録された作品や文章の著作権は、それぞれの作者・筆者に帰属しています。学校図書発行教科書の指導に使用する目的以外での使用はできません。

ことばで つながる

なまえ

ことばビンゴを つくろう

① 「ま」からはじまる ことばを、ペアの人と そうだんして かき入れましょう。

② ことばを かえて やって みましょう。

1

おはなしと えから そうぞうして よもつ

名前

スイミー ①

① スイミーは、どんな 魚でしょうか。だい名から 考えましょう。

② スイミーを よんで、いちばん おもしろいと おもった ことを かき
ましょう。

③ ともだちのはっぴょうを きいて、よかった ところを メモしましょう。

1

おはなしと えから そうぞうして よもう

名前

スイミー②



きょうかしよ20ページの「ア」から「キ」の えを、おはなしの じゅんばんに ならびかえて、えに 名前を つけましょう。

えの じゅんばん	えの 名前 〈れい〉○○なスイミー						

1

おはなしと えから そうぞうして よもう

名前

スイミー③ だいいばめん

1

スイミーの ようすを たしかめましょう。

・スイミーは どんな 魚ですか。

・どんな ことを して くらして いますか。

・どんな 気もちで くらして いますか。

2

スイミーの ことで いちばん しょうかいしたい ことは どんな ことですか。

3

ともだちが スイミーに なりきった じこしょうかいを きいて、よ かった ことを かきましよう。

1

おはなしと えから そうぞうして よもう

名前

スイミー④ だい二ばめん

1

ひとりぼっちに なった スイミーの 気もちを そうぞうして かきましよう。

・スイミーに どんな ことが おこりましたか。

・どう して スイミーは にげる ことが できたのでしょうか。

・「こわかった、さびしかった、とても かなしかった。」（13ページ）の
ときの スイミーの ようすや きもちを そうぞうして かきましよう。

2

だい二ばめんの 音どくで くふうしたい ことを かきましよう。

スイミー⑤ だい三ばめん

□

いろいろな 生きものに 出あい、スイミーの 気もちは どの ように
かわりましたか。

・ひとりぼっちで いる スイミーの ようす

・スイミーは、どんな ものに 出あいましたか。

・（ ）のよう な くらげ。

・（ ） みたい な いせえび。

・（ ） みたい な いわから 生えてる、こんぶや わかめの 林。

・（ ） かおを 見る ころには、しつぽを わすれてるほど
ながい。

・かぜに ゆれる（ ） みたい な いそぎんちゃ
く。

・どうして スイミーは、 だんだん 元気を とりもどしたのですか。

・スイミーの 気もちは、ひとりぼっちの ときと くらべて、どのよう
に かわりましたか。

スイミー⑥ だい四ばめん

□ スイミーと 赤い 魚たちとの、考えの ちがいを よみましょう。

・この ばめんでは、スイミーは どんな ことを しましたか。 かきましよう。

・スイミーが、赤い 魚と 出あった とき、どんな 気もちだったでしょう。

・どうして 赤い 魚は いわかげから 出て こないのでしょう。

・スイミーの 考えと 赤い 魚たちの 考えは、どう ちがいますか。

1

おはなしと えから そうぞうして よもつ

名前

スイミー ⑦ だい五ばめん

1

スイミーが 考えた さくせんを かきましよう。

「ぼくが、目に なるう。」

↓

2

スイミーは、この とき、どんな きもちだったでしょう。

3

音どくで くふうしたい ことを かきましよう。

1

おはなしと えから そうぞうして よもつ

名前

スイミー⑧ だい六ばめん

Ⅰ 大きな 魚を おい出した ときの スイミーの 気もちを、ひとりぼっ
ちの ときと くらべましょう。

〈大きな 魚を おい出した とき〉

〈ひとりぼっちの とき〉

2 音どくで くふうしたい ことを かきましよう。

いろいろな 日記を かこう

□ 三つの 日記を よみ、 おもしろい ところに せんを ひきましよう。

かんそうも かきましよう。

① やったね日記

四月三十日（木）

わたしはきょう、なわとびをしたよ。
うしろとびができたよ。やったね。
つぎは、あやとびをとんでみたいな。
木本さんは、れんぞくとびが百かい
をこえたよ。

〈かんそう〉

② ありがとう日記

五月一日（土）

おばあちゃん、ぼくの大すきなオム
ライスをつくってくれてありがとう。
ケチャップで、ぼくの名前がかいて
あるのがうれしくて、すごいはやさで
たべちゃったよ。

〈かんそう〉

③ はっけん日記

五月二日 日よう日 天気はれ

きょう、どうぶつえんにいきました。
大人のライオンは、おすもめすも、
たてがみがあるとおもっていたけれど、
めすにはたてがみがないとしり、おど
ろきました。

〈かんそう〉

かん字の画

Ⅰ かん字の 画を しらべましょう。

① かん字を かく とき、一回で かく 線や 点を といいます。

② かん字の 画の 数を と といいます。

一 は、() 画です。

七 は、() 画です。

③ つぎの かん字は、なん画ですか。

大 () 画

犬 () 画

木 () 画

水 () 画

④ 画には、() 画と () 画があります。

② つぎの かん字の 二画めは どこですか。 赤えんぴつで なぞりましょう。

円

王

糸

耳

③ かん字の 画数クイズを つくりましょう。(□に かん字を かき入れましょう。)

① なん画クイズ

() 画

() 画

② 三画めは、どこクイズ (□に かん字を かき入れ、三画めを 赤えんぴつで なぞりましょう。)

はじめたよ、こんなこと ①

① 二年生に なって、新しく はじめた ことを みじかい ことばで かきましよう。

(れい) そろばんをはじめた

② はなしたい ことを メモしましよう。 はなす じゅんばんに ばんごう を かきましよう。

(れい) まいしゅう火よう日にやっている。

みんなに つたえよう

名前

はじめたよ、こんなこと②

① 聞く人に 分かりやすく はなす ときの くふうを 考えましょう。

② 考えた くふうを 生かして、スピーチの れんしゅうを しましょう。自分の
スピーチの よい ところや、がんばりたい ことを かきましよう。

主語と 述語

① えを見て、文をつくりましょう。



は(が)	は(が)	は(が)	は(が)

② 「主語」「述語」とは なにか しらべましょう。

--	--

「なに(だれ)が」「なに(だれ)は」

「どうする」「どんなだ」「なに(だれ)だ」「ある(いる)」

花が →

とても

きれいだ。 →

③ つぎの文から、主語と述語を見つけ、せんをひきましょう。

① うしがなく。 ② わたしはハオだ。 ③ あそこに雲がある。

④ ライオンは大きい。 ⑤ ぼくは星を見る。

Ⅰ といの文をさがして、かき出しましょう。

この文をさがして、かき出しましょう。

② ①の文を二つの文にわけましょう。

この文を二つの文にわけましょう。

③ 一つめの
といの
文と
こたえを
かきましよう。

一つめの といの 文と こたえを かきましよう。

こたえ

たえ

④ 二つめの
といの
文と、
こたえを
かきま
しょう。

二つめの といの 文と、こたえを かきましよう。

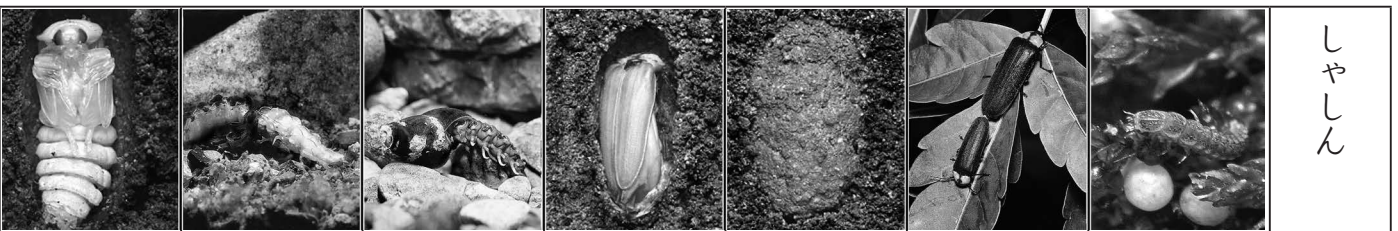
こたえ

たえ

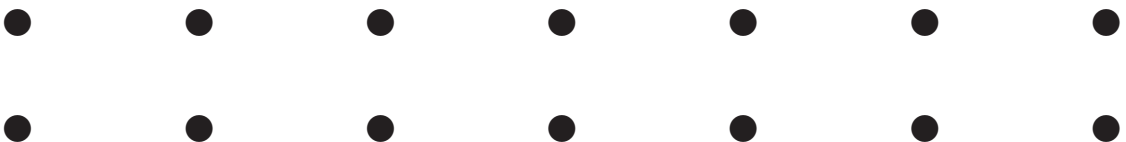
ほたるの 一生②

□ シャしんを お話の じゅんじょに あうように せんで つなぎ、だん

らくばんごうを かきましよう。



しゃしん



							だんらく ばんごう
いよいよ せい虫に なります。	ようやく さなぎに なります。	「土まゆ」という 小さな へや をつくります。	なんども、だつぴを くりかえし て せいちようします。	よう虫は、かわになど いう 貝 の 肉を たべて そだちます。	たまごは、およそ 一か月後に よう虫に なります。	めすを 見つけ、けっこんします。	書いて ある こと

ほたるの 一生③

□

③く⑪だんらくの それぞれに だい名を つけましょう。

の 中に ことばや 文を かき入れましょう。

③ めすを 見つけ、けっこんする

④

⑤

⑥ およそ 一か月後に よう虫に なる

⑦ かわになを たべ、だっぴする

⑧

⑨ 「土まゆ」という 小さな へやを つくる

⑩ ようやく さなぎに なる

⑪ いよいよ せい虫に なる

ほたるの 一生⑤

① ほたるの 一生を 一文で あらわしましょう。

といの 文

ほたるは、どのように 一生を すごすのでしょうか。

こたえを もとに まとめた 文

どんな

ほたるの 一生は

一生です。

② よいと おもった ともだちの 文を かきましょう。

ほたるの 一生は

一生です。

③ 「ほたるの 一生」の かんそうを かきましょう。

しらべて 書^かこう

名前

しらべよう、まとめよう
生きものの一生

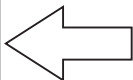
① しらべて わかった ことを、カードに まとめましょう。

【しらべたいこと】

【ずかんの名前】

【ページ】

② カードを もとに 文しょうを 書きましょう。



名前

だい名「」

ずかんをつかってまとめよう

【しらべたこと】

【しらべたこと】	
【ずかんの名前】	【ページ】

【わかったこと】

• • • • •

【 $\bar{\lambda}$ 】

かん字の でき方 かた

Ⅰ ものの 形から できた かん字には、どんな ものが ありますか。

ア 生きもの イ どうぐ ウ 人の すがた



魚



鳥



馬









Ⅱ かん字の いみを あわせて できた 字には、どんな ものが ありますか。

ますか。

鳴

く

林

この字は、（ ）
というかん字を二つあわ
せたものです。

この字は、（ ）と読みま
す。（ ）と（ ）の二

つのかん字をあわせたものです。

森

この字は、（ ）
というかん字を（ ）
つあわせたものです。

Ⅲ ほかに どんな かん字が あるか しらべて かきましょう。

（ ） （ ）

（ ） （ ）

（ ） （ ）

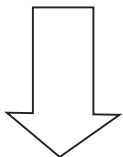
書き出しを くふうしよう

① 読みたくなる 書き出しには、どのような とくちようが ありますか。

② つぎの、三つの 文しょうの 書き出しを 読みたくなるように 書きかえましょう。

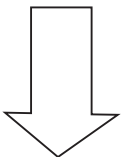
ア

きのう、山のぼりを
しました。
おとうとが
「ヤッホー。」
といったら、山びこが、
「ヤッホー。」
と、かえってきました。



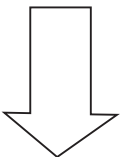
イ

あすは、たのしみに
している遠足です。で
も、ひるから雨がザー
ザーふってきたので、
遠足に行けるか心配い
になりました。



ウ

きょう、四月にたね
まきをしたかぶをぬき
ました。「大きなかぶ」
に出てくるかぶとくら
べると、小さいかぶで
す。たべたら、とても
おいしかったです。



たからさがしに ちょうせん

1 たからさがしの ヒントになる ことばを 書きましょう。

2 なにに 気をつけて 聞いたら よいでしょうか。

3 たからさがしの ヒントを 考えましょう。

(れい) 赤い 色の へやです。へやの すみに あります。四かい
つくえの ある へやです。

4 ヒントを 出す ポイントは なんてしたか。ふりかえりましょう。

3

ずや ひょうに して くらべて 読もう

名前

たこの すみ いかの すみ ①

① だい名から、どんな 文しょうか よそうして 書きましょう。

--

② 「たこの すみ いかの すみ」で、おどろいた ことや、はじめて した ことを 書きましょう。

--

③ といの 文と、こたえの 文を 見つけましょう。

① といの 文は、なんだんらくめに ありますか。だんらくばんごうを 書きましょう。

だんらく

② といの 文を 書き出しましょう。

--

③ こたえの 文を さがして、書き出しましょう。

--

たこの すみ いかの すみ ②

① たこの にげ方や、すみの はたらきについて 分かる ところに、線を引きましょう。

たこは、すみをはいた後、いかなどのせまいすき間に、みをかくします。たこのすみは、ねばり気が少ないので、水の中で黒いけむりのように広がります。すみは、てきの目からたこをかくすやくわりをはたします。それは、まるで「えんまく（けむりのまく）」をはってにげるにんじやのようです。

② たこについて 読みとった ことを、ひょうに せいりしましょう。

にげ方	
すみの ねばり気	
すみの水の中 でようす	
すみのやくわ り	
にんじやの わざ	

たこの すみ いかの すみ ③

① いかの にげ方や、すみの はたらきについて 分るところに、線を引きましょう。

いかは、すみをはいた後、はやくおよいで、てきからはなれます。
 いかのすみは、ねばり気が強いので、水の中で黒いかたまりになります。
 それは、まるでもう一ぴき、いかがふえたようにも見えます。いかは、てきがその黒いかたまりに目をうばわれているすきに、すばやくにげます。
 こちらは、にんじゃの「かわりみのじゅつ」のようです。

② いかについて 読みとった ことを、ひょうに せいりしましょう。

にげ方	
すみの ねばり気	
すみの水の中 でようす	
すみのやくわ り	
にんじゃの わざ	

たこの すみ いかの すみ④

1

たこと いかの ちがいを、ひょうに まとめましょう。

	たこ	いか
にげ方		
すみの ねばり気		
すみの水の中 でようす		
すみの やくわり		
にんじゃの わざ		

2

に ことばを 書き入れましょう。

いかは、たこよりも

ので、

ができれば、

ができる。

音や ようすを あらわす ことば

① 絵の中から、どんな音が聞こえてくるか、さがしましょう。

・せんべい・・・・・・・・・・・・・()

・やき肉・・・・・・・・・・・・・()

・ほうちょう・・・・・・・・・・・・・()

・・・・・・・・・・・・・・()

② 音をあらわすことばをつかって、文を作りましょう。

() () (ワンワン) ()

() () (ポチャン) ()

() () (ガアガア) ()

() () () ()

③ 絵の中から、ようすをあらわすことばをさがして、文を作りましょう。

・ちようちよう・・・・・・・・・・・・・()

・けむり・・・・・・・・・・・・・()

・かあさん・・・・・・・・・・・・・()

・()・・・・・・・・・・・・・()



――ことを うけとめよう

名前

どう 言えば いいかな

☐ じぶんが すきな もの

☐ たのしかった こと

☐ 新しく はじめた こと

☐ みんなが えがおに なるように、どんな ふうに 話せば よいか 考
えましょう。

話すとき

☐ 自分が 話したとき、どう 言って もらえると うれしいか 考えま
しょう。

聞くとき

げんこうようしの つかい方 ①

□ 正しい げんこうようしの 書き方を まとめます。

たしかめる ところ	正しい 書き方
はじめ	
かぎ (「 (「	
まる (。 や点 (、	
そのほか	

げんこうようしの つかい方②

□ 左の 文しょうを、正しい げんこうようしの 書き方に なおしましう。

大すきなのんちゃん

木村 あゆみ

わたしの家には、のんちゃんというねこが
います。のんちゃんはわたしが生まれる前から
家にいます。

わたしが家に帰ってきたときに、
「のんちゃん、ただいま。今日は何をしてい
たの。」

と聞くと、
「ニャー。」

とへんじをしてくれます。日によって鳴き方
がちがうので、その日はたのしかったのか、
いやなことがあったのかがわかります。

わたしわいすにすわっているといつもものん
ちゃんはわたしのひざの上にのってきます。
あたまをなでてあげるととてもよろこびます

。

わたしはこんなのんちゃんがかわいくて大
すきです。これからもなかよくしていきたい
です。

4

ようすが わかるように 書こう

名前

ふだんの できごころを しょうか
いしょう①

① 教科書を見て、川口さんが書いた文しょうのよいところを見つけてみよう。

・

・

・

・

② 「たねカード」の中から、しょうかいしたい ことを きめましょう。
だれに どんな ことを しょうかいしたいですか。

〈だれに〉

〈どんなこと〉

ふだんの
いしょう
②
できごとを
しょうか

2

I

書くことを、ひょうにせいりしましょう。

				した こと
				おもった こと
				じゅん ばん

2

「ひょうを見なおして、書きたい。じゅんにばんごうをつけましょう。また、足りないところを書き足しましょう。」

山のとしょかん

Ⅰ お話クイズを 考えて、ともだちと クイズを 出し合いましょう。

〈クイズ①〉

〈こたえ〉

〈クイズ②〉

〈こたえ〉

〈クイズ③〉

〈こたえ〉

2 お話クイズを 出し合って、気づいた ことを 書きましょう。

たべもの

① 「たべもの」の中で、気に入ったたべものようすを書きましょう。

・

--

--

・

--

--

・

--

--

② 自分で考えた、たべものようすを書きましょう。

--

--

--

--

--

--

③ 友だちが考えた、たべものようすの中で、気に入ったものを書きましょう。

--

--

--

--

しをあじわおう

名前

いろんな おとの あめ

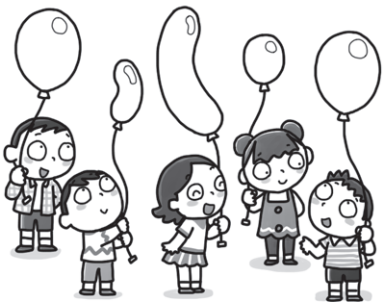
- 1 「いろんな おとの あめ」の中で、気に入った雨のふるようすを書きましよう。

- 2 自分で考えた雨のふるようすを書きましよう。

- 3 友だちが考えた雨のふるようすの中で、気に入ったものを書きましよう。

くわしくあらわすことば・やさし
めすことば

□ ものをくわしくあらわすことばやさしめすことばについて 考えましょう。



① 絵に教科書と同じ色をぬり、みんなの風船は
何色か、書きましょう。

- よし子さんの風船は、
風船です。
- ゆりえさんの風船は、
風船です。
- はるとさんの風船は、
風船です。

② どんな風船か、もつとよく分
るように話しましょう。

③ つぎの「この・あの・その」は、
だれの風船をさしていますか。

○ ゆりえさんの風船は、
風船です。

○ はると「この風船だとおも
うよ。大きいもの。」

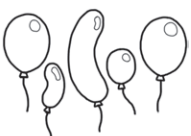
○ はるとさんの風船は、
風船です。

○ ゆりえ「はるとさんのは、あ
の風船と同じ大きさだね。」

○ たかしさんの風船は、
風船です。

○ よし子「その風船は、細長
くて小さいから、どうかな。」

○ あきらさんの風船は、
風船です。



食^たべるのは、どこ①

Ⅰ この文しうは、どんなことをせつめいしていますか。それが分かることばや文を書きましよう。

「とい」の文を見つけて、書きうつしましょう。

③ 出てきたやさいを、出てきたじゆんに書きましょう。

やさしい	じゅん
	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7

4 「とい」の「こたえ」を書きましょう。

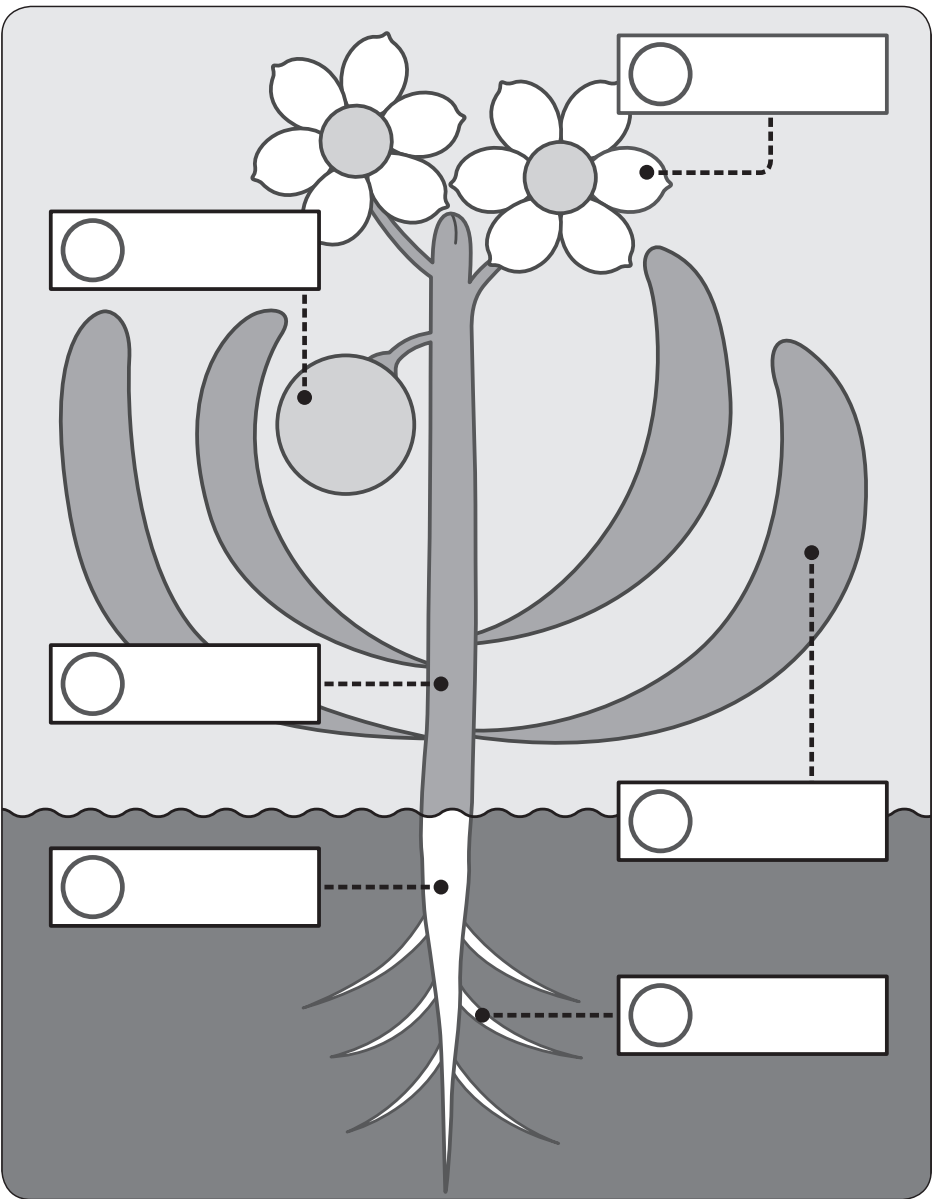
						④	まあまりの ばんごう
						アスパラガス	どんなやさい
						くき	どこを食べるか (部分 ^{ぶぶん})

食べるのは、どこ②

①

食べる部分^{ぶぶん}がどこかを考えて、ずに、やさいの名前を書き入れましょう。

○には、やさいが出てきたじゅんに、ばんごうを書きましょう。



②

出てきたやさいは、どうしてこのようなじゅんになっているのでしょうか。
考えを書きましょう。

食べるのは、どこ③

- ① ほかのやさいとらつかせいをくらべましょう。そして、気づいたことやおどろいたことを書きましょう。

--	--	--	--	--	--

- ② 友だちがはっぴょうしたことを、メモしましょう。

友だちの名前	はっぴょうしたこと

- ③ ほかのやさいとらつかせいをくらべて、分かったことを書きましょう。

--

食べるのは、どこ④

Ⅰ しょうかいしたいやさいを書きましよう。

しょうかいしたいやさい				食べる部分
れい	アスパラガス			くき

Ⅱ しょうかいするじゅんじよをきめて、書きましよう。

一ばんめ	二ばんめ	三ばんめ

Ⅲ そのじゅんじよにしたわけを書きましよう。

--

Ⅳ しらべたやさいをしょうかいするためにまとめましよう（どこの部分かも書きましよう）。

どこをくくくくくくくく①

① なにとなにをくくくくくくくく。にているけれどちがうものから見つけましょう。

「

「

と

「

「

② その二つのものは、どんなところがちがいますか。

①

②

③

④

どこをくらべる？・②

① 二つのものをくらべて、ひょうに整理しましょう。

		くらべるもの	
くらべること			
	そのほか		

② 友だちのかんそうをもとに、ひょうを書き直したり、書きくわえたりしましょう。

しょう。

へつぎのことをたしかめましょう。

- ・文のおわりは はっきりと言いついてるか。
- ・文の長さはみじかくなっているか。

声に出してたしかめよう

① 手をたたきながら「音の数」をたしかめましょう。

① かいだんを何歩すすめるでしようか。



・「グミ」… () 歩

・「チョコレート」… () 歩

・「パイナップル」… () 歩

② 手をたたきながら、声に出して数えましょう。

おばさん… () はく

おばあさん… () はく

ねこ… () はく

ねっこ… () はく

びょういん… () はく

びょういん… () はく

につぼん… () はく

ひめじょう… () はく

レインボーブリッジ… () はく

とうきょうとつきよきよかきよく

… () はく

② 音のたかさで、ことばのいみがちがつてくることをたしかめましょう。

○音のたかい。ひくいを () といいます。

① ——— 線のことばの、アクセントをつけて、声に出しましょう。たかい音に○をつけましょう。

○ああ、あめだ。



あめ



あめ



かき



かき

○このかきは、おいしい。



きる

○セーターをきる。



きる



ふく

○わた毛をふく。



ふく

ヤマタノオロチ

Ⅰ 「ヤマタノオロチ」は、どんなお話かまとめましょう。

〈オロチのたいじきろく〉

○ 「いつ」

--

○ 「どこで」

--

○ 「だれが」

--

○ 「どんなことがあったか」

--

Ⅱ お話を読んで、おもしろいと思ったことや気づいたことを書きましょう。

--	--	--	--

「むかしのものがたりをたのしもう

名前

むかしのものがたりをしようかい
しよう

☐ えらんで読んだ「むかしのものがたり」を、友だちにしようかいしまし
う。

○だい名

--

○とう場人ぶつ

--

○お話のあらすじ

--	--	--	--

○しゅ人こうのしょうかい

--	--	--	--

ことばをつないで文を作ろう

名前

一年生でならったかん字①

○ きょうかしのれいのように、上のかん字をたくさんつけて、文や文しよを作りますよ。

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
草 石 虫 花 土 大木 貝 川 田 水車 林 町 村 山 森

.....

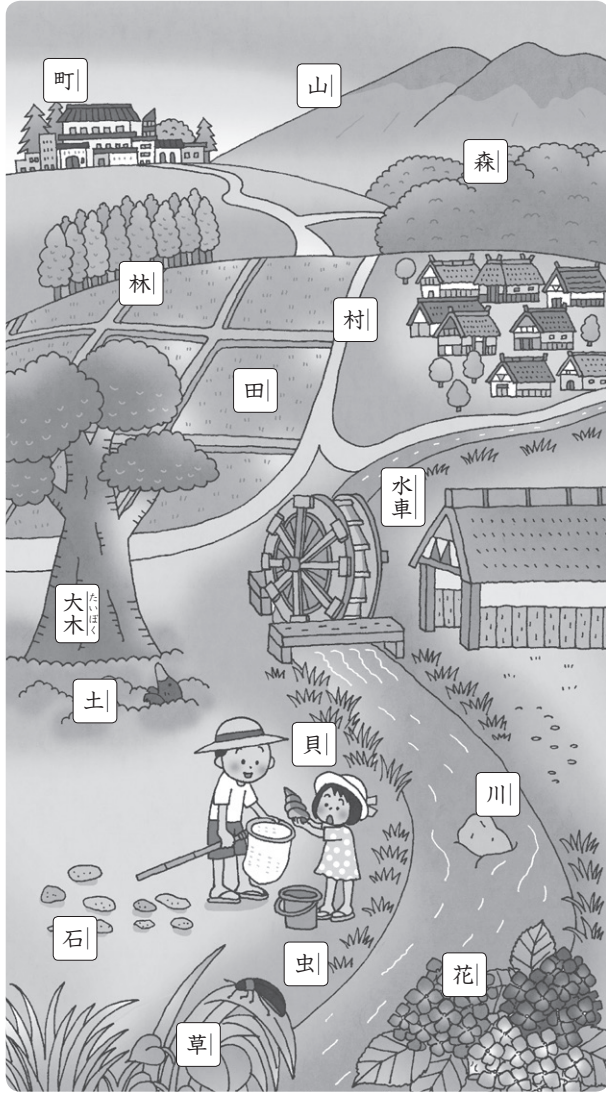
.....

.....

.....

.....

.....



ことばをつないで文を作ろう

名前

一年生でならったかん字②

○ きょうかしのれいのように、上のかん字をたくさんつけて、文や文しよを作りますよ。

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
天気 青空 花火 かけ足 金メダル 下りる 上がる 手 赤 玉入れ 白 力いっぱい



この本で学しゅうしたかん字①

○ あたらしい かん字を よみましょう。

スイミー

① 黒い 金魚が およいで います。

② 魚いちばで たくさんの 魚を 見ました。

③ 黒ばんに 名前を書きました。

④ 前かいに つづいて、こんかいも まけました。

⑤ 教かしよを 元氣よく よみます。

⑥ 一月一日の あさを 元たんと いいます。

⑦ ちらかした へやを 元どおりに しました。

⑧ ともだちの いけんを さん考にして 考えました。

⑨ あたらしい かん字を 教わかりました。

この本で学しゅうしたかん字①

○ あたらしい かん字を かきましよう。

スイミー

① くろ い 金 ぎょ が およいで います。

② うお いちばで たくさんの さかな を 見ました。

③ こく ばんに 名 まえ を 書きました。

④ ぜん かいに つづいて、こんかいも まけました。

⑤ きょう かしよを げん 気よく よみます。

⑥ 一月一日の あさを がん たんと いいます。

⑦ ちらかした へやを もと どおりに しました。

⑧ ともだちの いけんを さん こう に して かんが えしました。

⑨ あたらしい かん字を おそ わりました。

この本で学しゅうしたかん字②

○ あたらしい かん字を よみましょう。

いろいろな 日記を かこう

① あさがおの 生ちょうを 記ろくしました。

② なつの おもいでを ノートに 記しました。

かん字の 画

③ かん字の 画数を しらべました。

④ 画ようにしに 点と 線でもようをかきました。

⑤ たまごの 数を 三回 数えました。

⑥ とりが 空を とび回っています。

この本で学しゅうしたかん字②

○ あたらしい かん字を かきましよう。

いろいろな 日記を かこう

① あさがおの 生ちようを き ろくしました。

② なつのおもいでを ノートに しる しました。

かん字の 画

③ かん字の がく すう を しらべました。

④ が ようしに てん と せん で もようを かきました。

⑤ たまごの かず を 三 かい かぞ えました。

⑥ とりが 空を とび まわ っ て います。

この本で学しゅうしたかん字③

○ 新しい かん字を よみましょう。

はじめたよ、こんな こと

① 毎|日、おとうさんは 新|聞を よみます。

② 新|しい お話|を たくさん 聞|きました。

③ 新|たな 気もちで がんばります。

④ 人|間は、ことばを 話|す ことが できます。

⑤ 本|の 間|から、ふるい 手|がみが 出|て きました。

⑥ 休|み時|間に ふたりは かい話|を たのしみました。

⑦ しゅくだいは、ひる間|の うち|に すませます。

⑧ これは、一年生の 時|に よんだ 本|です。

⑨ おばさんは、新|がたけんに すんで います。

この本で学しゅうしたかん字③

○ 新しい かん字を かきましよう。

はじめたよ、こんな こと

① まい 日、おとうさんは しん ぶん を よみます。

② あたら しい お はなし を たくさん き きました。

③ あらた たな 気もちで がんばります。

④ 人 げん は、ことばを はな す ことが できます。

⑤ 本の あいだ から、ふるい 手がみが 出て きました。

⑥ 休み じ かん に ふたりは かい わ を たのしみました。

⑦ しゅくだいは、ひる ま の うちに すませます。

⑧ これは、一年生の とき に よんだ 本です。

⑨ おばさんは、 にい がたけんに すんで います。

この本で学しゅうしたかん字④

○ 新しい かん字を よみましょう。

主語と述語

① 雲の 間から きれいな 星が 見えました。

② 山の上から すばらしい 雲かいを 見ました。

③ お話の 語り手は、とても 日本語が じょうずでした。

④ かれは、火星を 見つけた 天才です。

この本で学しゅうしたかん字④

○ 新しい かん字を かきましよう。

主語と述語

① くも の 間から きれいな ほし が 見えました。

② 山の上から すばらしい うん かいを 見ました。

③ お話の かた り手は、とても 日本 ご が じょうずでした。

④ かれは、火 せい を 見つけた 天 さい です。

この本で学しゅうしたかん字⑤

○ 新しい かん字を よみましょう。

ほたるの 一生

① 黄色い 羽の ちょうが、とんで いきました。

② 日光が まぶしく 光り かがやいて います。

③ はれ 後 くもりで、いまは 月の 光は ありません。

④ 一週間後に、地下でつが はしります。

⑤ しあいは 後はんに なってから おもしろく なりました。

⑥ 先生の 後ろを、五色の はたを もって いきました。

⑦ 地めんを 黄土色で ぬりました。

⑧ 二十四色の おりがみで 千羽づるを おりました。

⑨ 後で おいしい 肉を たべに きて ください。

この本で学しゅうしたかん字⑤

○ 新しい かん字を かきましよう。

ほたるの 一生

① き いろ い はね の ちょうが、とんで いきました。

② 日 こう が まぶしく ひか り かがやいて います。

③ はれ のち くもりで、いまは 月の ひかり は ありません。

④ 一 しゅう 間 ご に、 ち 下てつが はしります。

⑤ しあいは こう はんに なってから おもしろく なりました。

⑥ 先生の うし ろを、五 しき の はたを もって いきました。

⑦ じ めんを おう 土 いろ で ぬりました。

⑧ 二十四 しよく の おりがみで 千 ば づるを おりました。

⑨ あと で おいしい にく を たべに きて ください。

この本で学しゅうしたかん字⑥

○ 新しい かん字を 読みましょう。

しらべよう、まとめよう 生きものの 一生

① 本を 読|む ことを 読|書と いいます。

② 読|点に 気を つけて さく文を 書|きました。

③ むかしの こく語の 教か書|を 読|本と いいます。

かん字の ひろば 1

④ わたしは、きょうから きゅうしよく当|ばんです。

⑤ ほけんしつで、けがの 手当|てを して もらいました。

⑥ 日曜|日に、おじいさんと 汽|車に のりました。

この本で学しゅうしたかん字⑥

○ 新しい かん字を 書きましょう。

しらべよう、まとめよう 生きものの 一生

① 本を

む ことを

と いいます。

②

点に 気をつけて さく文を

きました。

③

むかしの こく語の 教か

を

本と いいます。

かん字の ひろば 1

④

わたしは、きょうから きゅうしよく

ばんです。

⑤

ほけんしつで、けがの 手

てを して もらいました。

⑥

日に、おじいさんと

車に のりました。

この本で学しゅうしたかん字⑦

○ 新しい かん字を 読みましょう。

かん字の でき方

① おもしろい 形かたちの 弓ゆみが ありました。

② 馬うまに のって、矢やを いる れんしゅうを しました。

③ 刀かみを こしに さした 人形にんぎょうが ありました。

④ 夕方ゆふぐに なったので、戸かどじまりを しました。

⑤ 小鳥こどりが きれいな こえて 鳴ないて います。

⑥ この 日本刀にっぽんとうは、おじさんの 形見かたみです。

⑦ 門かどの そとで、するどい ひ鳴ひなが 聞こえました。

⑧ ひがしの方かたがくから、馬車ばしやが やって きました。

⑨ 一戸いっどだての いえに すんで います。

この本で学しゅうしたかん字 ⑦

○ 新しい かん字を 書きましょう。

かん字の でき方

①

おもしろい

かたち

の

ゆみ

が ありました。

②

うま

に のって、

や

を いる れんしゅうを しました。

③

かたな

を こしに さした 人

ぎょう

が ありました。

④

タ がた

に なったので、

と

じまりを しました。

⑤

小 とり

が きれいな こえて

な

いて います。

⑥

この 日本 どう

は、おじさんの

かた

見です。

⑦

もん

の そとで、するどい ひ

めい

が 聞こえました。

⑧

ひがしの ほう

がくから、

ば

車が やって きました。

⑨

一 こ

だての いえに すんで います。

この本で学しゅうしたかん字⑧

○ 新しい かん字を 読みましょう。

かん字の でき方

① ことしも 白鳥が やって きます。

② え馬に ねがいごとを 書きました。

③ 学校の まわりの 地形を しらべました。

④ 交|つうじこが 前の 年の 半|分に へりました。

⑤ なつ休みも 半|ばを すぎました。

⑥ かなと かん字が 交|じった 文を 書きます。

⑦ 線と 線が 交|わる ところに 点を うちます。

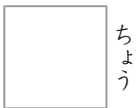
この本で学しゅうしたかん字⑧

○ 新しい かん字を 書きましょう。

かん字の でき方

①

ことしも 白

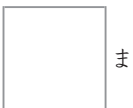


ちよう

が やって きます。

②

え

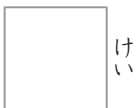


ま

に ねがいごとを 書きました。

③

学校の まわりの 地



けい

を しらべました。

④



こいつ

つうじこが 前の 年の

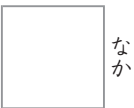


はん

分に へりました。

⑤

なつ休みも



なか

ばを すぎました。

⑥

かなと かん字が



ま

じった 文を 書きます。

⑦

線と 線が



まじ

わる ところに 点を うちます。

この本で学しゅうしたかん字⑨

○ 新しい かん字を 読みましょう。

書き出しを くふうしよう

- ① きょう、遠足の 作文を 書きました。
 () () ()
- ② うんどう会のおべんとうを 作りました。
 () () ()
- ③ 作ぎょうふくに きがえて、しごとを 行いました。
 () () ()
- ④ 遠くの ぎん行に お金を あずけに 行きました。
 () () ()
- ⑤ 五行めから 心を こめて 読んで ください。
 () () ()
- ⑥ 町の 中心に 学校が あります。
 () ()
- ⑦ 行く手に 山が 見えます。
 () ()

この本で学しゅうしたかん字⑨

○ 新しい かん字を 書きましょう。

書き出しを くふうしよう

①

きょう、

えん

足の

さく

文を

書きました。

②

うんどう

かい

の おべんとうを

つく

りました。

③

さ

ぎょうふくに きがえて、しごことを

おこな

いました。

④

とお

くの ぎん

こう

に お金を あずけに

い

きました。

⑤

ぎょう

めから

こころ

を こめて 読んで ください。

⑥

しん

町の 中 に 学校が あります。

⑦

ゆ

く手に 山が 見えます。

この本で学しゅうしたかん字⑩

○ 新しい かん字を 読みましょう。

たからさがしに ちょうせん

① 友|たちと ひろ|場で あそびました。

② 友|人と はたを もって 入|場しました。

たこのすみ いかのすみ

③ 少|年は、もう 少|し ここに いたいと おもいました。

④ 強|力な ばねの 力に ひっばられました。

⑤ かぜが 強|いので、いえで すごします。

⑥ ことは、雨が 少|ないようです。

この本で学しゅうしたかん字⑩

○ 新しい かん字を 書きましょう。

たからさがしに ちょうせん

①

とも

だちと ひろ

ば

で あそびました。

②

ゆう

人とはたを もって 入

じょう

しました。

たこのすみ いかのすみ

③

しょう

年は、もう

すこ

し ここに いたいと おもいました。

④

きょう

かな ばねの カに ひっぱられました。

⑤

かぜが

つよ

いので、いえで すごします。

⑥

ことは、雨が

すく

ないようです。

この本で学しゅうしたかん字⑪

○ 新しい かん字を 読みましょう。

音や ようすを あらわす ことば

① いもうとに 絵本を 読んで あげました。

② ゆう名な 絵画を 見て たのしみました。

どう 言えば いいかな

③ 一日中、一言も 言わずに すごしました。

④ ふくおかけんの 方言に ついて しらべました。

⑤ 先生からの でん言をおかあさんに つたえました。

⑥ 同じ 形の まるを かきました。

⑦ ふたりは、同時に はしり出しました。

この本で学しゅうしたかん字⑪

○ 新しい かん字を 書きましょう。

音や ようすを あらわす ことば

① いもうとに

え

本を 読んで あげました。

② ゆう名な

かい

画を 見て たのしみました。

どう 言えば いいかな

③ 一日中、一

こと

も

い

わずに すごしました。

④ ふくおかけんの方

げん

に ついて しらべました。

⑤ 先生からの でん

ごん

を おかあさんに つたえました。

⑥

おな

じ 形の まるを かきました。

⑦ ふたりは、

どう

時には しり出しました。

この本で学しゅうしたかん字⑫

○ 新しい かん字を 読みましょう。

ふだんの できごとを しょうかいしよう

① 新しい 家|を たてました。

② とのさまが 家|らいをつれて あらわれました。

③ 大家|さんに 家|ちんをはらいに 行きました。

④ 家|ぞく そろって タごはんを たべました。

この本で学しゅうしたかん字⑫

○ 新しい かん字を 書きましょう。

ふだんの できごとを しょうかいしよう

① 新しい

を たてました。

② とのさまが

らいを つれて あられました。

③ 大

さんに

ちんを はらいに 行きました。

④

ぞく そろって タごはんを たべました。

この本で学しゅうしたかん字 ⑬

○ 新しい かん字を 読みましょう。

お話クイズ大会を しよう／山の としよかん

① テストの 答え合|わせを しました。

② アンケートの 回答|を 出しました。

③ てきと みかたが たたかう ことを、合|せんと 言います。

④ 大きな 声|で 校かを 合|しょうしました。

⑤ 来|年も クラス合|同で、かるた大会を します。

⑥ どん車は、あと十五分|で えきに つきます。

⑦ ケーキを 三人で 分|けました。

⑧ 十五夜|の 月明|かりが とても きれいでした。

⑨ 古|い 車に のって、男は やって 来|ました。

この本で学しゅうしたかん字 ⑬

○ 新しい かん字を 書きましょう。

お話クイズ大会を しよう／山の としよかん

① テストの

こた

え

あ

わせを しました。

② アンケートの 回

とう

を 出しました。

③ てきと みかたが たたかう ことを、

かつ

せんと 言います。

④ 大きな

こえ

で 校かを

がっ

しょうしました。

⑤ 年も クラス

ごう

同で、かるた大会を します。

⑥ でん車は、あと十五

ふん

で えきに つきます。

⑦ ケーキを 三人で

わ

けました。

⑧ 十五

や

の 月

あ

かりが とても きれいでした。

⑨

ふる

い 車に のって、男は やって

き

ました。

この本で学しゅうしたかん字 ⑭

○ 新しい かん字を 読みましょう。

お話クイズ大会を しよう／山の としよかん

① 今|から せつ明|します。

② ずいぶん 古|ふうな とけいを おもちですね。

③ ねつを はかったら、三十七ど八分|ありました。

④ おばさんが パリから 帰|こくしました。

⑤ 今|月、大きな 台|ふうが 来|来るそうです。

⑥ 車道|を 明|るい 光が てらして います。

⑦ 夜道|を 用|心して 帰|りました。

⑧ おかあさんは、外|出|して います。

⑨ おもいの 外| あたたかく、気分|の よい 一日|でした。

この本で学しゅうしたかん字 ⑭

○ 新しい かん字を 書きましょう。

お話クイズ大会を しよう／山の としよかん

① いま から めい せつ めい します。

② ずいぶん こ ふうな とけいを おもちですね。

③ ねつを はかったら、三十七どハ ぶ ありました。

④ おばさんが パリから き こくしました。

⑤ こん 月、大きな たい ふうが く るそうです。

⑥ 車 どう を あか るい 光が てらして います。

⑦ よ みち を よう 心して かえ りました。

⑧ おかあさんは、 がい 出して います。

⑨ おもいの ほか あたたかく、気 ぶん の よい 一日でした。

この本で学しゅうしたかん字 ⑮

○ 新しい かん字を 読みましょう。

お話クイズ大会を しよう／山の としよかん

① はつきりした 音声で 話します。

② セメントを 用いて、しっかりした 土台を作ります。

③ あしたの ことを 明日とも 言います。

④ 外は、もう すっかり 明るく なりました。

この本で学しゅうしたかん字 ⑮

○ 新しい かん字を 書きましょう。

お話クイズ大会を しよう／山の としよかん

① はっきりした 音 で 話します。

せい

② セメントを いて、しっかりした 土 を 作ります。

もち

だい

③ あしたの ことを 日とも 言います。

みよう

④ は、もう すっかり くなりました。

そと

あか

この本で学しゅうしたかん字⑩

○ 新しいかん字を読みましょう。

くわしくあらわすことば／さししめすことば

① ほを上げた船は、風かぜの力ですすみます。
() () ()

② 細い糸がぎれた風船ふうせんは、とんでいきました。
() () ()

③ 細心のちゅういをはらって、こうじをすすめました。
() ()

④ 長いひもで何回なんかいもまきました。
() () ()

⑤ 小さな子どもたちが、風車ふうぐるまを手にあそんでいます。
() ()

⑥ 長女ちやうむすめは、船ふねたびに出かけています。
() () ()

⑦ 文字が細こかすぎて、何なにが書いてあるのかわかりません。
() () ()

この本で学しゅうしたかん字 ⑬

○ 新しいかん字を書きましょう。

くわしくあらわすことば／さししめすことば

①

ほを上げた

ふね

は、

かぜ

の力ですすみます。

②

ほそ

い糸がきれた

ふう

せん

は、とんでいきました。

③

さい

心のちゅういはらって、こうじをすすめました。

④

ほそ

いひもで

なん

回もまきました。

⑤

小さな子どもたちが、

かざ

車を手にあそんでいます。

⑥

ちよう

女は、

いふな

たびに出かけています。

⑦

文字が

こま

かすぎて、

なに

が書いてあるのかわかりません。

この本で学しゅうしたかん字⑬

○ 新しいかん字を読みましょう。

食べるのは、どこ

- ① お正月に食|べすぎたので、太|ってしまいました。
() () ()
- ② 夕食|後、にわで丸|い月をながめていました。
() () ()
- ③ 「何か食|うものはないか。」と、男は言いました。
() () ()
- ④ 太|ようがてりつけるなか、丸|太をはこびました。
() () ()
- ⑤ しょう来は、ほう丸|なげのせん手になりたいです。
() () ()

この本で学しゅうしたかん字⑰

○ 新しいかん字を書きましょう。

食べるのは、どこ

①

お正月に

た

べすぎたので、

ふと

ってしまいました。

②

夕

しょく

後、にわで

まる

い月をながめていました。

③

「何か

く

うものはないか。」と、男は言いました。

④

たい

ようがてりつけるなか、

まる

た

をはこびました。

⑤

しょう来は、ほう

がん

なげのせん手になりたいです。

この本で学しゅうしたかん字⑮

○ 新しいかん字を読みましょう。

どこをくらべる？

① 自分|のつくえのまわりをせい|理しました。

② 山や川などの自|ぜんを大切|にしましょう。

③ 日直|のしごとを、自|らすんでひきうけました。

④ 木を切|ってしまったことを、正直|にあやまりました。

⑤ 直|ちに文を直|してください。

声に出してたしかめよう

⑥ 学校まで歩|道を歩|いて行きました。

⑦ これからも歩|みをとめずにすすんでいきます。

⑧ 毛|系でマフラーをあみました。

⑨ あたたかい毛|ふにくるまってねました。

この本で学しゅうしたかん字 ⑱

○ 新しいかん字を書きましょう。

どこをくらべる？

① じ 分のつくえのまわりをせい り しました。

② 山や川などの し ぜんを大 せつ にしましょう。

③ 日 ちよく のしごとを、 みずか らすすんでひきうけました。

④ 木を き ってしまったことを、正 じき にあやまりました。

⑤ ただ ちに文を なお してください。

声に出してたしかめよう

⑥ 学校まで ほ 道を ある いて行きました。

⑦ これからも あゆ みをとめずにすすんでいきます。

⑧ け 糸でマフラーをあみました。

⑨ あたたかい もう ふにくるまってねました。

この本で学しゅうしたかん字⑬

○ 新しいかん字を読みましょう。

ヤマタノオロチ

① かぜで頭がいたくなりました。

② 先頭を歩く人は、頭上にちゅういしてください。

③ おかし、ふかい谷にかこまれた小さな国がありました。

④ おじさんから外国の話を聞きました。

⑤ 体は大きいのですが、体力がありません。

⑥ 校長先生に校内を案内していただきました。

⑦ にいさんは、見かけによらず内気な人です。

この本で学しゅうしたかん字⑬

○ 新しいかん字を書きましょう。

ヤマタノオロチ

①

かぜで

あたま

がいたくなりました。

②

先

とう

を歩く人は、

ず

上にちゅういしてください。

③

むかし、ふかい

たに

にかこまれた小さな

くに

がありました。

④

おじさんから外

こく

の話を聞きました。

⑤

からだ

は大きいのですが、

たい

力がありません。

⑥

校長先生に校

ない

をあん

ない

していただきました。

⑦

にいさんは、見かけによらず

うち

気な人です。

一年生で学しゅうしたかん字①

○ かん字の れんしゅうを しましょう。

手耳四三口犬金九貝下卅一

十七糸山校見空休学火王右

出車字子左五月玉氣花音雨

一年生で学しゅうしたかん字②

○ かん字の れんしゅうを しましよう。

八	入	土	町	竹	村	早	千	夕	正	森	女
百	年	二	天	中	大	草	川	石	生	人	小
文	白	日	田	虫	男	足	先	赤	青	水	上

一年生で学しゅうしたかん字③

○ かん字の れんしゅうを しましよう。

林 目 木

六 立 本

力 名